

農業・農村を支える基盤整備事業の推進

1. 農を強くする（地域で暮らし稼げる農業の実現）

【農業全体を下支えする基盤整備の推進】

本県での取組状況

現状

- ほ場整備率（10a区画以上）**49.4%**（R元年度）
一定規模かつ合意形成が図られた農地において、ほ場整備を実施してきたが、中山間地が多い本県では全水田面積の半分に満たない状況
※参考（30a区画以上）高知県：32.8%（H30年3月）
全 国：65.9%
- 担い手への農地集積率：**32.1%**（R元年度）
農地中間管理事業により一定進んだが、目標（58%）には達していない状況。
※参考 全国：57.1%



土地条件が悪い農地は担い手が借りてくれない
担い手の農地集積が進まない

課題

- 産業振興計画を進めてきたなかで見えてきた課題

- 新たな企業誘致や既存農家の規模拡大、高収益作物への転換
⇒**優良農地の確保**
- 集落営農の推進 ⇒**農作業の効率化・省力化**
- 農地の確保に不安を抱える就農希望者が多い
⇒**新規就農者用農地の確保**
⇒**担い手への農地集積の加速化**

担い手のニーズにあった農地の確保
基盤整備により優良農地を生み出すことが必要

高知県産業振興計画
農業分野の施策の展開～地域で暮らし稼げる農業～

農業産出額等 現状（H30）：1,177億円⇒4年後（R5）：1,221億円
⇒10年後（R11）：1,285億円

柱1 生産力の向上と高付加価値化による産地の強化	柱2 中山間地域の農業を支える仕組みの再構築
柱4 多様な担い手の確保・育成	柱3 流通・販売の支援強化

第4期より New 農業全体を下支えする**基盤整備の推進**
担い手のニーズに応じたほ場整備を推進し**優良農地を確保**

具体的な取組状況

県営事業によるほ場整備の推進

- ◆優良農地を生み出すほ場整備事業地区の掘り起こし
・市町村等への啓発活動を実施
・県から積極的に候補地を提案 ⇒**候補地58地区をリストアップ**
- ◆事業化に向けた支援の強化
⇒**プロジェクトチームを立ち上げて計画策定及び合意形成を支援**
- ◆担い手の誘致に必要な施設園芸農地の整備の推進
⇒**候補地の選定、新たな担い手の確保、迅速な施設園芸用農地の整備**

目標

- ◆地形条件や地域のニーズに応じたほ場整備の実施（国庫補助事業の活用）

国営事業の推進

- ◆高知南国地区 国営緊急農地再編整備事業の実施
⇒**10年間で526haの整備（事業費：210億円）**

【整備目標】R2～R5（4年間）239ha
R2～R11（10年間）761ha

提言①

農業競争力を強化するための基盤整備予算の確保

担い手への農地集積・集約化や高収益作物への転換等により農業の体質を強化し、地域で暮らし稼げる農業を展開するための**基盤整備予算の確保**

2. 農村を守る（安心して暮らせる農村環境の実現）

【ため池整備の推進】

本県での取組状況

農村地域防災減災事業等による対策の実施状況

【ソフト対策】

- ①ため池マップ
 - ②緊急連絡網
 - ③浸水想定区域図
 - ④ハザードマップ
- R2年度末までに完了
R元～見直し・作成中



【ハード対策】

【地震対策】

耐震補強の実施（計画：21池）

- ※南海トラフ地震対策行動計画
- ・R3年度末までに
→**21池完了予定**

【豪雨対策】

洪水吐改修等の実施（計画：21池）

- ・R3年度末までに
→**15池完了予定（残：6池）**



今後の取組

【高知県防災工事等推進計画】に基づき防災重点ため池の対策を推進

- ①「劣化状況評価」 + 「地震・豪雨耐性評価」を実施

②地震・豪雨対策の実施

- R2年度末時点で新たに必要であると判明したため池
- 【地震対策】→23池
- 【豪雨対策】→90池
- 計 **104池**（※重複9池）

※ため池下流の状況により人家等への影響が大きいものから対策を実施

提言②

農村地域の防災・減災対策を着実に推進するための予算の確保

南海トラフ地震対策や豪雨対策としてのため池改修など、農村地域の防災・減災対策を着実に推進するための**「農村地域防災減災事業」の予算確保**